

Motto:
 A Scout is Active in
 Doing Good
 Not Passing in Being Good
 標語
 「スカウトは積極的に善行します。
 消極的な善人になるのではありません」
 B-P



ボーイスカウトの
 教育訓練の鍵は
 徳性づくり
 知能づくり
 健康づくり
 奉仕の実践



—浜松地区B-P祭より—

躍進をつづける浜松地区 昭和47年度浜松地区協議会総会終る

昭和47年4月18日 楠会館にて

昭和47年度浜松地区協議会総会は昭和47年4月18日、桜の花も殆んど散って、はや葉桜の時期を迎えつ、ある浜松市八幡宮の楠会館に於て、地区役員並びに各団役員リーダーを集めて行われた。最初に細江第一団、団委員長で先般御逝去された伊藤和助氏の御冥福を祈っての黙祷から始まり別稿の如く内田時世地区委員長のあいさつがあり活発な討議に入った。

都合でスカウト浜松関係の報告並びに審議に入り、最近スカウト浜松の内容充実に伴い財政が苦しくなっているの、この建て直し及び未収金関係の処理の件について5月10日財政委員会との協議に依って結論を出すこと、した。

三輪コミッショナーより46年度の事業報告、次いで金森財政委員長及び後藤副コミより決算報告が済み47年度事業計画は三輪コミから説明があり内田県コミからは勤労行事週間についての補足説明があった。

地区役員は別紙の如く満場一致承認を得て新たに発足すること、なった。

新年度予算案審議に入り、各団より地区に入る金銭はすべて収入とした為莫大な予算となったこと、地区負担金の増額、積極財政をはかること等について質疑応答が行われ承認された。

最後に地区コミッショナーの運営についてブロック制を敷いて拡大した地区を活動に対処しようとする計画についての説明があり新事務長に牧野績補に柴田薫両氏の紹介、浜松まつりの奉仕について打合せをして無事全議題の審議を終り、こゝに昭和47年度の浜松地区は新体制で発足すること、なったのである。

47年度地区総会にのぞんで

浜松地区委員長 内田 時世

本日は御多用の中を地区総会にご参集下さいまして有難うございます。日頃、当地区に対して、何にかと、ご奉仕をいただいておりますことを深く感謝し、お礼を申し上げます。

47年度は、年頭のご挨拶に申し上げました通りスカウト運動の原点に帰って一人一人が謙虚に勉強して行きたいと存じております。知りすぎて当り前になった事も改めて自ら知りなおい他人に理解と納得をさせ、知らないことは更に知る努力を惜しまない。そして、たとえ寸刻でも時間のゆるす限り奉仕を実行する人間造りを本年の目標としたいと考えております。

浜松地区も関係各位の協賛と努力によって大世帯となりましたのでブロック制を採用して意思疎通のないように私共スカウト仲間の人間関係より出発して、全員が自らの実行によって自らの責任において、更に充実した地区としてゆきたいと存じております。

団によっては様々の困難に遭遇する場合も多々あろうかと存じます。お互に励まし合い助けあって、此の立派なスカウト運動より落伍しないようにして戴きたいと存じます。

前進的、建設的な試行錯誤は当然ゆるされてよいものと考えます。各種運営委員会の頑張りに期待しております。

本年もよろしくご協力下さることをお願い致します。尚先般の班長訓練野営の撤収に際して各団関係の皆さんには道路事情の悪化により生じた輸送事態に特別のご配慮をいただきまして御陰で無事予定通り野営を完了出来ました事をお礼申し上げます。団の皆様によりしくお伝え下さい。

では、よろしく今日の総会議題のご審議をお願い致します。

昭和46年度 事業報告書

自S 46.4.1～至 S 47.3.31

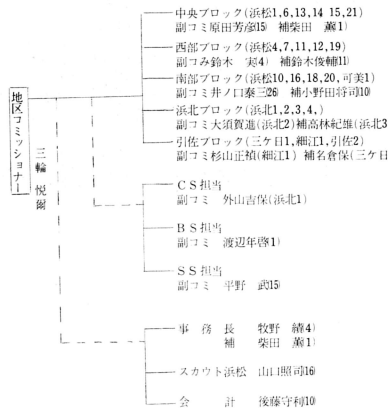
Table with 4 columns: 事業項目 (Project Item), 期日 (Date), 摘要 (Summary), 要 (Notes). Lists various activities like regional meetings, training camps, and youth events.

○結成 4件 (川口C.S. (4.18), 21団B.S. (天竜川町)(12.26)...)
○審査 3件 (引佐2団B.S. (金指引)(47.1.16)...)
○説明会 6ヶ所 10件 (金指, 天竜川町, 船越, 10団C.S., 浦, 浜北4)

Table listing staff and members for various committees and associations, including names and roles.

浜松地区協議会コミッショナー分担表

浜松地区協議会コミッショナー分担表



浜松地区協議会 役員

Table listing the officers and staff of the Hamamatsu Area Association, including names and positions.

昭和46年度 浜松地区収支決算報告書

Financial statement table for income (収入の部) with columns for item, budget, actual, and surplus/deficit.

Financial statement table for expenses (支出の部) with columns for item, budget, actual, and surplus/deficit.

上記のとおり会社報告いたします。
昭和47年4月15日 浜松地区委員会 会計 後藤 守利
上記のとおり相違ないことを確認します。
昭和47年4月17日 浜松地区委員会財政委員長 金森 武夫

昭和47年度 浜松地区収支予算

日本ボーイスカウト浜松地区委員会

Table with columns for '収入の部' (Income) and '支出の部' (Expenditure). It lists various items like '繰越金', '立替金', '地区負担金', '委託金', '地区大会参加費', '研修参加費', 'ラリー参加費', '寄附金', '雑収入', '受取利息', '過年度収入', '合 計' and their corresponding amounts and descriptions.

*各予算科目間の流用は必要に応じ認めることとする。
*別途積立金は必要に応じとりくずしうえ収支予算に計上のうえ使用することができるものとする。
上記のとおり提案いたします
昭和47年4月17日 浜松地区委員会 財政委員長

昭和47年度事業計画

Table detailing the '昭和47年度事業計画' (Business Plan for 1972). It lists activities such as '地区総会', '勤労行事週間', '県連総会', '日連総会', '隊長訓練野営', '地区合同野営', 'シニアラリー', '地区大会BSGS', '年末助け合い', 'SSGS上級パーテ', '初日出陣式', 'BSSスキー訓練', 'B-P祭', '隊長訓練野営', 'SS移動野営', '県地区コミ会議', '事務長', '理事', '団委員講習会', 'DM', 'DC研修会', 'L研修会', 'BSL講習会', 'CS', '地区ブロック会議', 'WB研修所', 'WB実習所', and '市バイ大', '市キャンプ講習会' with their respective dates and locations.

備品目録一覧表

Table titled '備品目録一覧表' (Inventory List) listing various items (No., Item Name, Unit, Quantity, Location, Remarks). Items include '8mmフィルム', '救急用手術器具', 'ボール及空気入', 'トランシーバー', 'フライシート', '事務用椅子及本棚', 'テープレコーダー', '担架', '16mmジャンボリー', 'B-P肖像画', '大天幕', '食器', '電話器及線1000', '野外用ロープ', '講習会用箱', '説明会用スライド', 'ロープ', '16mmフィルム(富士に立つ)', '大天幕', '大国旗', 'ツルハン', 'ナタ、プロセツト', '木工具', '大工具', 'スコップジョレン', '炊事具', '三点セット', 'フィルム8mm(W・J)', '大天幕(グリーン)', 'カマド', 'コヒラス', and 'レコード'.

昭和46年度 B-P 祭

浜松市立講堂にて盛大に挙行

昭和47年 2月20日



ボーイスカウト浜松地区協議会並びにガールスカウト浜松地区協議会合同主催による昭和46年度B-P祭は昭和47年2月20日、早春未だしの快晴のもと浜松市立高校講堂に於て盛大に挙行された。

9時30分第1部式典の部は、開会のことば、国旗掲揚、国歌斉唱、世界の総長合唱、主催者のあいさつに次いで来賓・平山市長及び内田県コミの祝辞があり、講堂を一ぱいに埋めつくした参加者によって盛り上った雰囲気うちにプログラムは進められていった。

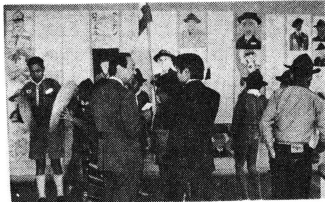
第2部はB-P伝を劇に依って下記の



担当で再現した。

- 第1話 森の裁判 (浜北1、2、3、CS隊) 外山
- 第2話 メーフキング時代 (浜松20BS隊) 井ノ口
- 第3話 アルカデアン号の出会い (GS47団) 大杉
- 第4話 ブラウニー物語 (GS47団) 塩谷
- 第5話 第1回世界ジャンボリー (浜松1BS隊) 増田

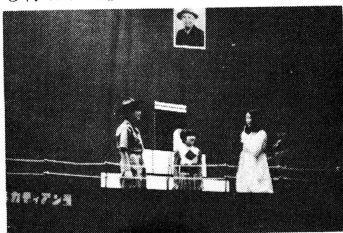
各団が夫々生けんめいで練習したり、いろいろ準備した甲斐があって、スカウ



つらしい演技がくりひろげられ、友だちたちから満場われんばかりに拍手がおくられていた。

第3部はアトラクションに移り、ブラウニー、GS16団、BS12、CS隊による鼓隊演奏は日頃の訓練ぶりに敬服感嘆しきり、最後に第13回世界ジャンボリーの映画をみて散会した。

国会場のロビーではB-P似顔絵展示会も行われた。



B-P祭を行うに際して

地区委員長 内田 時世

本日は私共ボーイスカウトの総長であるベーデン・ポーエルの誕生を記念しました浜松地区のB-P祭での御挨拶を申し上げます。(B-Pは1857.2.22に生れた。)

ベーデン・ポーエルの最後のメッセージの中でB・Pは「神様は私共人間が全て、一生幸福にかつ、その上、楽しく暮らせるよう、此の世界に生れて来るようにお作りになった」と云っています。又「幸福とは、お金持になったり、単なる立身出世や栄達に成功したり、思い通りな、我がま、が出来ることではありません。幸福になる第一歩は、君たちの身体を少年の間に、健康かつ強壯にすることに始まります。

そうすれば、君たちが大人になった時、お役に立つことができ、そのために生活を楽しむことが出来るのです。

幸福を得る本当の道は、他の人々に幸福を支えることによって得られるものです。』こうも云っています。

此の事がBoy Scoutの「ちかい」であり、「おきて」であると思います。



此のB-P祭を一つの転機にしてB-Pに続く人間に皆さんもなって下さい。

高リーダー、地区団役員、此の運動に日頃参加奉仕されている皆さん方——BS運動は、やり甲斐のある奉仕である。と自信と確信をもっていたきたいとお願いする次第でございます。

スカウトに国境なし

GSトレーナー 壇 さちよ



本日はシンキングデイを記念してスカウトには国境がないというお話を申し上げたいと存じます。この国旗はアフリカにある象牙海岸共和国の旗です。

この国も1965年にガールガイドを作りたいと世界連盟に希望を申し出ました。この事を伝え聞いたデンマークのひとりのリーダーのアイデアで象の形をした募金箱が作られ「お金だけを喰べる象だから毎日、皆さんで餌を与えましょう」と提案したおかげで沢山のお金が集まり、その募金によってスイスのトレーナーが派遣され、そのトレーナーの奉仕によって、めでたく世界のスカウトの仲間入りが出来たのです。

きょうの、シンキングデイによせ、私たちのチーフガイド、レディB-Pは英国のガイドブックに「私のバースデイプレゼントには、スカウトの皆さんが、もう一人のスカウト、もう一人のリーダー、もう一つの国、もう一つの善行、もう一人の国際友愛基金を加えて下さったならば、私にとって最も、すばらしい月であり、最大の喜びであります」と申されておられますので、私たちも、尚、一層努力して参りましょう。

財政委員会メンバー

委員長 金森武夫(12) 浜松市助信町 558	浜松 12 金森武夫	浜北 1 松本芳郎 浜松市小松4670-1
副委員長 伊崎正治(18) 〃 浅田町 349	13	2 町田友謙 〃 尾野2427
〃 星野長次(北4) 浜北市東美園 220	14 浦山正志 浜松市観塚町19775-51	3 中野岩雄 〃 新原673
〃 柳部正三(10) 浜松市馬郡町3,408	15 川瀬愛太郎 〃 新町94	4 小林きく子 〃 横須賀1122-1 平434
浜松 1 田畑晴志 浜松市成子町 62	16 杉本晴夫 〃 海老塚町161-2	三ヶ日 1 栗田賢一郎 引佐郡三ヶ日町三ヶ日 678
4 山本寅雄 〃 高町 100	地区 R17	細江 1 木保重男 〃 細江町気賀 903-2
6	18 宇野三雄 〃、南浅田1-6-5	引佐 2 加藤 寛 〃 引佐町金指1713-2
7 青木左治 〃 住吉町 119	19 久保 力 〃 龍山寺町2017-5	可美 1 中村昭二 浜名郡可美村高塚4705 千430
10 鈴木隆規 〃 篠原町3900-1	20 杉山守夫 〃 入野町8834	地区会計 篠原守利(10) 浜松市篠原町12030 千431-02
11 伊藤三郎 〃 旭町70	21 木村清治 〃 天竜川町64	

日連及び県連総会に於て 表彰の榮譽に輝く地区関係者

5月7日午後1時より静岡市静鉄保険会館に於て、昭和47年度県連総会が行われ、46年度事業報告並びに決算報告、47年度事業計画及び予算審議等活発な審議応答のうちに進められた。役員改選では昨年に引きつづき川井連盟長を推籤し副連盟長には尾崎忠次が留任、以下関係役員の改選確認が行われた。又県連50周年事業記念としてボーイスカウト像建立計画及び、ボーイスカウト県大会についての計画の説明と植林事業報告と県連維持財団の現況報告等があつて無事終了した。

尚当日議事に先だつて、県連の有功章授与が行われ、地区では次の諸氏が夫々輝く榮譽を受けた。

- 大橋俊蔵 浜松第7団 地区指導者養成委員長
- 山中将司 浜松第15団 地区組織拡張副委員長
- 鈴木 実 浜松第4団 BS隊長

- 原口芳彦 浜松第15団 地区副コミッショナー
- 平野 武 浜松第15団 地区副コミッショナー
- 小野田将司 浜松第10団 BS隊長
- 杉山友男 浜北第1団 地区組織拡張委員長
- 中嶋圭介 浜松第12団 地区進歩委員長
- 新井信一 浜松第16団 野営行事副委員長
- 神谷隆久 浜松第11団 BS隊長
- 長尾静夫 浜松第14団 育成会長
- 市橋章司 浜松第11団 BS副長

5月20日・21日の両日長野県庁講堂に於て行われた日連総会に於ても次の各氏が多年の功績と御苦労に報いるための日本連盟表彰を受けたこと。地区としても、こゝに大きな誇りということが出来よう。

- たか 章 内田嘉一 県コミッショナー
 - かつこう章 三輪悦爾 浜松地区コミッショナー
 - 特別感謝章 平野繁太郎 静岡県民運動推進協議会長
- 以上

「愛国心」を読んで

浜松4団CS父兄 倉見 藤子

国を愛する心は、日本人としての自覚に目ざめた時点から生まれてくるのではないのでしょうか。すなわち、国際的視野に立って物事を眺められた時、自国と他国の意識がなされはじめて日本人としての自覚が生まれてくるものと思います。

私たちは、内に向ける目も大切ですが、外に向かって開く目が自分の囲りを見つめる尺度を大きくする大切は要素と考えます。

専業主婦の私も、G・Sリーダーとして歩み出してから、国旗や国歌に対する思いが深まり、国際的行事を見るにつけ日本人としての自覚が強くなりました。また外国のペンフレンドを通して日本を考え、その良さを見直すきっかけが与えられ、カブスカウトの活動状況等交換できるようになりました。

また、国を愛する心は知る心であり、理解することによって愛の心が芽生えてくるのではないのでしょうか。B・Pの立派な歩みも、神の愛に目ざめ、神を深く愛していたからではないのでしょうか。「最上の愛国心は、世界の諸国民のチームの仲間に入って充分に自分の役割が果せるよう、自分の国の力を向上させることに助力することである」と説いておられます。

私が郷土史に関心を持つようになってから浜松市の各地に愛着を深め、市民としての誇りを持つように深く知ることが愛する事に通じ人間を大切に思う心が奉仕の心を生み、人類愛へと発展していくのではないのでしょうか。

ジャンボリーの「相互理解」は何とすばらしく適切なテーマだったでしょう。

国際的な団体としての特性を生かし、日本に世界に友情の輪を広げ、名譽にかけて「やくそく」と「おきて」の実行できるスカウトに成長していただきたいと願っております。

***** * 感謝状の紹介 * *****

指導者の養成講習会は関係者の御奉仕と御協力によって開催されておりますが、受講者からも大変感謝されておりますが今

回次の様な感謝状が寄せられて参りましたので御紹介致します。

前略

老眼鏡を懐中に糖尿病を押しての講習会参加でしたが年を忘れた夢の様な三日間でした。

講習の内容が充実しておりました事は云うまでもありませんが鈴木主任講師先生を始め三輪隊長外諸先生方、揃いも揃って甲乙のつけがたい立派な方々の身をもつての御教示は私の一生を通じての忘れる事の出来ない一頁となる事で御座いましょう。

あんな立派な先生方に見守られているカブ隊の子供達が本当に羨ましく存じますと共に不肖私等、先生方の足もとにも及ばず、たかが三月間の講習を受けた位でとてもとても指導者顔等出来たものではないと痛感いたしました。

講習会を通じ、私達の為に、否、私達の為にとという様な小さなものでなく将来の日本の為にとという諸先生方の御高潔なるお考え（静岡より参加されました加藤真一大先輩の「墓石の下で喜ぶ」と云われた一言も含めて）胸の中が熱くなり身体が震える程の感激を覚えました。これこそ真のスカウト道（又は精神）であり騎士道であり日本的にいえば武士道であろうかと存じます。又、期間中、裏方さんの存在として御奉仕いただいた七団のお母様方、本当に御苦労様でした。

講習会解散に際し色々とお礼を申し上げ御世話になりました。全ての皆様方によるしく御伝言していただきたく思ひまして貴方様の所へ参りましたのに、私達の使用したネッカチーフを一枚一枚揃えておいでの御姿を拝見しましたとき、この方あって始めてあんな立派な講師先生方があるのだと存じ感激のあまり涙が先になり、只々「ありがとう御座いました」の言葉がやつとで御座いましたので改めて筆を取らせていただきました。

どうか貴方様から講師先生を始め御世話下さいました皆様方、お母様方に、涙して感謝していた男がいた事をお伝えいただきたく御願ひ申し上げます。

今筆を取っておりますと雨の立がしきりです。私達の講習期間中天気は良し、又気温も本来なら一番寒い時期であるのに春の様な日和りで本当に恵まれた講習会が出来ました事を心から天に感謝しております。

末筆ながら不足な私を今後共にかと御指導いただきたく御願ひ申し上げます。

乱筆ながら、とりあえず御礼まで。

草々



雨の歓迎会

浜松地区コミッショナー 三輪悦爾

恵まれた悪天候によって実施された、第7回班長訓練野営は、多大な成果を認め無事終了した。

それは、昭和46年度最後の行事、3月23日から26日の3泊4日の出来ごとであった。

市体育館前に3名の欠席者を出したのみで、116名、3ヶ隊が集結完了である。

外山鳥隊長、平野獣隊長・名倉鈴木実副長によって、それぞれ、点検完了、市川重雄野営行事委員長の激励の言葉を受けバス2台に分乗、野営地・川宇連に向って出発、時に9時35分であった。

しとしとと降る雨は、今から訓練野営に入山する。昭和47年度班長候補達の訓練の雨の歓迎式のようなものであった。

初めて参加するスカウトの不安げな顔、小雨などこ吹く風——と。早、野営場へと心が走っているスカウトの顔・顔。

不安と期待に胸をはずませた顔が、入

り交った複雑な風景であった事が今更のようによみがえってくる。

開所式

現地に着しても尚雨は止まず、だんだんひどくなりそうな空模様である。

即先発隊によって設営されている、本部マーキー（フライシート）の下で本部員会議である。

特に、開所式終了後、各隊によって、キャンプサイトに入山する手順、設営の要領等打合せ完了、開所式を迎えたのであった。

ぬれぬれ、

川宇連野営場の奥から獣隊、鳥隊、山隊とサイト入りし、設営にかかる本部との距離2kmである。

設営時即ちぬれぬれ、のスカウトもおも。雨は止まず、心の中では帰りたくなった初参加スカウトも、おそらくおった事だろう何故ずぶぬれになっただろ

うか。最少限度ぬれずに済ます事は出来ないだろうかと反省したスカウトも沢山いた事だろう。それを実証したのが、雨中での薪保管である。

或スカウトの記録の中に

雨の中でも火がついた。ごはんも食べた。おかずも、おいしかった……。

このことがどんなに誇らしく思った事だろう。自信をつけた事よし、新年度班長として、浜松一のいや、日本一の、すばらしい班にしたいと、心に誓っておったスカウトもいた。

また、僕達の班は、みんなで、てるてるぼうずを造り雨の上がるのを祈っておった……と。素直な気持ちがにじみ出て来て、記録を読み乍ら、目がしらが、あつくなるのを覚えた次第である。

何と、たのもしく、いじらしくなスカウト達に「しっかりやれよ、と弥栄を送りたい。



二日目にも雨は尚止まず、昨夜の雨量の多かったこと、ほんんどのサイトは、田んぼであり、テントの中まで浸水したのにはおどろいた事だろう。何故、測溝が必要か、フライシートが欠かせない一つであるか？

班員のチームワーク作りに又班作業に、班会議にフライシートの必要性が考えられた事だろう。

こんな悪条件の中でのキャンプ生活に一番大切なのは隊長の自信にみちた明るい態度である。天候の良い日以上に配慮するのは勿論、スカウト達にあたる影響が非常に大きい事は、云うまでもない。そこから生まれるスカウト達との心のふれあいがスカウティングに大きくプラスされることである。

その点においても今度の野営は成功に

導いた一つでもあったろう。

道路欠かい、貸切バス現地まで来ず各団の野営行事委員の方々或は父兄、リーダーには大変お世話になりました。スカウト達の衣類下着の差入れに、入れ替り立ち替りの訪問であった。

我子の為に少しでも早く、少しでも元気な顔を見たい気持ちと、どんな所でキャンプ生活をしているかと、入り交った気持ちの為であろう。どんどんキャンプサイトまで入り、手渡す父兄？

遠くから我子の様子を、ジューッと見守る父兄？やはり、私は後者を選びたい。手渡すべきものがあれば、野営長を通じ、各隊長へ励ましのために渡すべきことが一番大切なことであろう。

スカウト教育において忘れかけている大切な事であるとおつくづく反省されられ

た一コマであった。

閉会式とピストン輸送

撤営の為、各団から沢山の方々や奉仕していただいた事に先ず感謝を申し上げま道路欠かいの為、四方浄までピストン輸送していただいた車が30余台にもものぼった。又、閉会式の折、地区委員会を代表して新谷指養副委員長から各隊へ帰って充分雨の尊い体験を生かし頑張っしてほしいと力強い激励の言葉をいただいた。

良い班長になろうと固く心に誓った事だろう。修了者の名前を本部員から読みあげられ、元気よく代表者が修了証と履修リングを受取り、班員に渡している姿が、此の上なく頼もしく、行先の弥栄を力強く祈った次第である。

野営長日記より

思い出とこれから やりたいこと

浜北第1団 年少隊
胸に輝く矢章

武田 知己

ぼくは今までにいくつかの矢章をもらったが、友だちとくらべるとまだまだ少ない。世界ジャンボリーの時、制服にべったりとたくさんつけていた人を見た。その時「ぼくもあのくらい矢章をもらいたいな」と思いました。だが、まだまだ実行されない。実行できる日はいつのことか。一日、いや一秒でも早く実行したい。それにはまず、りっぱに「さだめ」を守りぬくことだ。今のぼくには、まだむりだ。だから今こそぞつたいに守りぬこうと心に深く思っている。ぼくはがんばる。明るくほがらかに、みんなにやさしくしてあげよう。ぼくはぜつたいにやる。矢章を100こ、いやもっとたくさんもらえるようにがんばる。

「楽しかったこと」 「これからしたいこと」

加藤 俊宏

楽しかったなあと思ったことは、やっぱり世界ジャンボリーが一番の思い出だ。友だちととまったことも初めてで、あのだしゃぶりの雨も初めてだ、外国の人たちとサインやこうかん会をしたことは一生わすれないだろう。ぼくたちは日本では世界ジャンボリーはあと開かれないのではないかと聞いて、行って本当によかったと思う。外国の人たちとこうかんしたものは、一生だいじにし、ぼくの宝物にしておきたい。それから、中田島で開かれたカブラリーも楽しいことがいっぱいだ。インディアンのかっこうでやった南北戦争は心に残っている。

これからやりたいなあと思っていることは、いっぱいあるが、ほかの隊の人たちと、ソフトボール大会をやりたいと思う。それから、しゃえいがやりたい。このことについては、まだよくわからないけれど、ぜひやりたいなあと思います。

おことわり これ以外に寄せられています紙面の都合で今回は上記4編のみにさせていただきます。悪しからず。

楽しかった思い出

馬淵 新吾

去年一年で、一番楽しかったことは世界ジャンボリーと浜松地区大会です。ジャンボリーに行く途中、白糸の滝に行きました。でも、黒糸の滝と言ってもいいほど水がよごれていました。川の水も流れが早く、どろ水でした。

ジャンボリー会場、朝霧高原に着くと、下がぐしゃぐしゃで残念なことにアリーナショウも雨のため中止となり見学することができませんでした。しかし、一生に二度と見ることの出来ない世界ジャンボリーを見学できてよかったです。ぼくは、このジャンボリーを見学したり、韓国のおにいさんたちと物を交かんしたりして、ボーイスカウトには国境がなく、世界中の人がみんな友だちなんだということをおぼえました。

地区大会では、浜松地区のカブスカウトといっしょに、紙玉鉄ぼうや、切り紙など、いろいろやって楽しかったです。隊集会では、クリスマス会や新年会などが楽しかったので今年もやりたいです。スケート教室も、この前はなかなかすべれませんでした、今は少しすべれるようになったのでもう一度行きたいです。

去年の反省と希望

小和田 寛幸

ぼくは、今から去年の反省をしたいと思います。

カブスカウトのやくそくで、幼いものをいたわります。というのが全然まもれませんでした。弟をじらしてなかせてしまうのです。それで母がおこりに来ると「弟がわるい」と言ってしまうのです。ほかに、進んで良いことをします。というやくそくも守れませんでした。今こそ少しづつ守っていきたいと思います。次に、ぼくの希望を書きます。みんなでプールに行きたい。みんなでプールの中でおよいでいることが頭にうかびます。また、高い山へキャンプをしたいと思います。どんどん登って行き、おもしろい大きな声を出し、きれいな空気をすい元氣よくいます。

野営行事委員会だより

昭和47年浜松まつり凧揚げ会場駐車場整理奉仕について

浜松地区野営行事委員長
竜口 和弘

去る5月3日から5日まで各団の奉仕により浜松まつり凧揚げ会場の駐車場整理も無事終了いたしました事を厚くお礼申しあげます。各団の奉仕の状況がまとまりましたのでご報告いたします。

団名	5月3日	5月4日	5月5日	計
浜松1団	10	3	1	14
4	10	2	2	14
6	0	0	0	0
7	7	3	1	11
10	1	3	6	10
11	0	0	3	3
12	19	4	2	25
13	0	0	0	0
14	6	2	0	8
15	12	4	0	16
16	13	2	1	16
18	7	3	1	11
19	0	1	4	5
20	1	3	6	10
21	0	2	4	6
浜北1団	0	1	6	7
2	0	0	2	2
3	0	1	2	3
4	0	1	1	2
三ヶ日1団	0	0	0	0
細江1団	0	1	7	8
引佐2団	0	2	0	2
可美1団	0	2	1	3
合計	86	40	50	176



「弥栄 スカウト浜松」 昭和47年日連県連被表彰者一同

私ども微力ながら表彰の栄に浴し、感謝に堪えません。今後とも各位の御指導と御協力の程を伏して御願ひ申し上げます。

- | | | | | | | | |
|---------|------|-------|-------|-------|------|---|------|
| 日連 たか章 | 内田嘉一 | 県連有功章 | 小野田将司 | 県連有功章 | 鈴木 実 | 〃 | 神谷隆久 |
| 日連かっこう章 | 三輪悦爾 | 〃 | 杉山友男 | 〃 | 原口芳彦 | 〃 | 長尾静夫 |
| 県連有功章 | 大橋俊蔵 | 〃 | 中嶋圭介 | 〃 | 平野 武 | 〃 | 市橋幸司 |
| 〃 | 山中将司 | 〃 | 新井信一 | | | | |

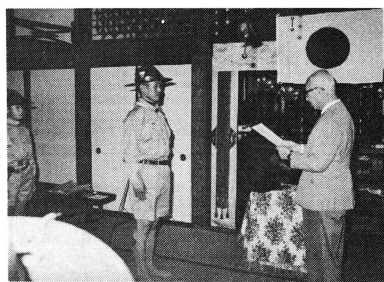
[組織拡張だより]

引佐第2団BS隊誕生

最近特にBS運動の盛んな引佐郡下にこの度、金指地区を中心として引佐第2団が発隊し1月16日午前10時より引佐町金指、実相寺に於て結成式が行われました。

来賓として静岡県連盟副連盟長、尾崎忠治先生、浜松地区役員、町当局役員、細江ライオンズクラブ会長等を迎え、又友隊のリーダー、スカウト多数が列席するなかで同寺の本堂に於て厳粛のうちにもスカウトらしいなごやかさをもって式は進められました。

来賓諸氏の力強い祝辞、育成会長、団委員長のスカウト教育に対する熱情あふる、お話し等参会者一同に深い感銘を与えました。かくてスカウト15名をもってBS引佐第2団BS隊が祝福されスカウトの仲間入りをしました。尚役員は次の通りです。



育成会長 黒瀬説雄 BS隊長 神谷恭二
団委員長 高須宏夫 ♪副長 内山恵介
副 ♪ 加藤 寛 ♪ 堀内 勲
♪ 杉浦 豊

浜北第4団北浜地区 を中心にして結成

昭和47年3月20日浜北市北浜中学校講堂に於て浜北市の第4番目の新設団としてボーイスカウト浜北第4団が誕生した。

浜北市には従来旧浜名地区を中心とした第1団、赤佐地区を中心として第2団、宮口地区を中心として第3団迄結成されていたが、今般北浜地区の有識者の御尽力と浜北の上記3つの団の絶大なる協力のもとに第4団の結成をみることになったのである。特に第1団から北浜地区より参加していた10名のスカウトを新設団におくり出し、前途を祝福し活躍を期待してこゝに有力なる第4団の誕生をみたのである。

当日は、あいにくの降雨にたゞられたが、友隊多数の参加をみて下記の通り幹部役員を選出して終了した。

育成会長 高橋 要
育成副会長 坂尾正義 気賀元彦
団委員長 星野長次
副団委員長 梅林朝雄
BS隊長 波多桂二(副長)川合猛
吉田義行

育成会事務長 高橋春男(その他委員は省略)

尚当日は天候が良ければ市中行進をする予定であったが雨のため講堂内にて浜北第3団の鼓隊演奏を実施して散会した。

待望のカブ隊浜松 第10団に誕生

かねてからカブ隊の誕生することを期待されていた浜松第10団に於ては昨年来りリーダーの養成に力を入れると共に隊員募集等、着々と活動をつづけていたがこゝに有力なカブ隊を新設することになって次の通り発隊式を挙行政した。

5月14日午前10時、浜松市篠原小学校講堂に於て当日雨天にもかゝ、わらずはるばる遠よりかけつけた友隊を始め後200名に及ぶ参会者を集め式は順調にすめられていった。

県連よりは井野理事、内田県コミ地区よりは杉山組委員長篠原小学校校長自治会長等の来賓より新隊員28名に対し祝福と激励があり、柳本育成会長鈴木副委員長、後藤隊長、小野田隊長等のおなじみの顔ぶれも非常に嬉しそうであったのが眼をひいた。

終了後は、金木せいの苗木の記念植樹が行われると共に当日参加団に対しては同じ苗木の進呈があったのは各団は夫々持ち帰り意義ある植樹をすること、なった。



うごき

- 1月29日 15団総会 楠会館(三輪出席)
- 30日 若人の集い 静岡市公会堂
- ♪ 県バイ大卒業式(♪)
- 31日 B-P祭原稿作り 法林寺
- 2月5日 地区コミ会議 静岡県民会館(三輪)
- ♪ カブ講習会(三ヶ日)打合 法林寺(宮沢他)
- 9日 地区財政委員会 法林寺
- 12日 隊長研修会(定例)法林寺
- 13日 渋川、川宇連野営場 下見並山主挨拶(内田嘉、三輪、外山、西野)
- 17日 B-P祭 最終打合 法林寺
- 18日 地区野営行事委員会、市川重雄事務所(新年度方針他B-P祭)
- 20日 B-P祭 浜松市立高校講堂(ボーイ、ガール 1,600余名)
- ♪ 班長訓練野営奉仕リーダー打合せ 法林寺
- 23日) カブ講習会(三ヶ日青年の家)
- 25日(宮沢、杉山他)
- 23日 地区組織拡張委員会 法林寺
- 25日 SS隊長会 移動野営等について 法林寺
- 27日 浜北4団審査 横須賀公民館

- (内田嘉、三輪、外山)
- 28日 健康安全委員会 法林寺 救急箱の整備等について
- 29日 地区名誉会議 内田地区委員長宅
- 3月4日 地区コミ会議 静岡県民会館(三輪)
- 5日 SS移動野営コース下見(新井井一、三輪)
- 6日 班長訓練野営打合会 法林寺(杉山、村上、西野、後藤、三輪他)
- 7日) カブ講習会(藤枝婦人会対象)
- 8日 三ヶ日青年の家(宮沢他)
- 11日 地区リーダー研修会(定例)法林寺
- 12日 10団カブ審査(内田嘉、三輪他)
- 14日 DC講習会打合 法林寺
- 15日 地区委員会 法林寺 地区組織問題等について

あ と が き

- 46号の編輯内容を余りはりきり過ぎたというか無計画というべきか、スカウト誌編輯の財政ピンチという事態となり各位に御心配かけて済まない次第である。
- 幸い財政委員会が理解ある助言とバックアップしてくれることになって参画

して頂いたことはほんとに有難い。今回の財政委員会の名刺広告もその一端であって各委員の御芳志に心からお礼を申し上げたい。

○47号は時期的にどうしても総会資料報告号というかたちになって記事的に余り面白いものがなくなってしまった。

○次号は例年に依り暑中見舞をお願いするときになるので例に依って各位各団の御協賛を今のうちから御願ひしておきたい。

○又6月4日の県大会もあるし各国のキャンプその他、活発な活動をしている時でもあるのでそうした記事をどんどん御投稿頂きたい。

○薫風のさつき空もこの号がお手元に届く頃には、やがてつゆ空を迎えていることであろう。各位益々御自愛あらんことを

発行所 第47号

日本ボーイスカウト浜松地区事務所
浜松市利町70-4 児童会館内
TEL 54-0178
編集発行責任者 杉山友男
昭和47年6月15日発行